

雨でも餅つきは楽しい

今年度は何故か「雨・雨」

誰が悪いのよなどと噂が飛びくらしい、夏祭り、餅つき大会と雨にたたられました。

1月22日恒例の餅つき、多くの方に参加して頂けるよう、準備していましたがあいにくの雨で参加を見合わせた方が昨年に比べ多か

ったでしょうか。

それでも当日は200名ばかりの方が来場され、新年の挨拶から始まり「あんこ餅」「黄粉餅」そして大釜までの「けんちゃん汁」を食べて頂きほっとしました。来年度はもつと工夫を凝らした餅つきを開催出来ることを全員で誓いました。



振り返れば

楽しかった三年

ほかの班長さんに聞くと「意外と楽しかったよね」「こういう場に来ないと知り合えない人と出会えたね」など・・・そうなんです。やってみると、意外と楽しかったんです。

自治会活動は無くても直

ぐ困らない事も有るような気がします。でも、東日本大震災を経験した私たちには、見過ごせない活動もあります。防災マップの配布や防災訓練です。自治会活

動は本当に沢山の方々に支えられているんだと感じました。多くの人たちが知恵を出し合い、経験を生かして子供たちや区民の皆さんに楽しんでもらおう、喜んでもらおうと体を動かしている事をしました。

最後に様々な場面ですらないことの多かった班長さんを、寛容と忍耐で見守ってくださった区民の皆さんに厚くお礼申し上げます。

9班班長 阿部 幸子

放射能と向き合う

初めて耳にする言葉「ベクレル」「シーベルト」「低放射能被ばく」そして「内部被ばく」新聞紙上を毎日の様に賑わしています。

日本ほど放射能に対し厳格な国は無いと信じてきたのですが。

牛久市は0.2μSvと他地区に比べ放射能レベルが高い地区です。果たしてこれは安全なのかと問いかけても、政府は勿論、著名な放射線の専門家に聞いても、絶対安全ですとの回答は有りません。危険レベルではないとか問題とする数値ではないです。

リスクは自己判断

リスクを考慮するとき参考とする文献は食品安全委員会が提供しているデータおよび放射線医学総合研究所が良いと思います。発表資料には食品にもともと含まれる自然由来の放射線等が記載されています。

牛久市では食品に含まれ

る放射能測定も実施されており、市のホームページに掲載されています。これらの数値を見て、その数値の根拠とか実際の測定数値を見て、リスクがどの程度なのか各々判断して頂きたいと思います。

一方区民会館の除染作業を班長の協力を得て、2月15日に実施しました。簡易計測器での結果は0.2μSv/時間まで除染することが出来ました。ご協力有難うございました。

防災講習会に参加

2月3日防災リーダー講習会に区長以下3名で参加しました。自分の身は自分で守る。非常用品は自分に必要なもの(例 薬)を備えましょう。また、家族の連絡先は被災地ではない親戚とか友人宅に設定すると良いとの事です。

編集後記

まだまだ寒い日が続いています。春はもうそこまで来えています。